

提案者(事業者)	北海道平取町長
設計者	株式会社石本建築事務所札幌支所
施工者	西松・日新特定建設工事共同企業体
建設地	北海道沙流郡平取町本町 67 番地 1

提案の
概要



A. プロジェクト全体の概要

- 平取町総合計画に基づく国保病院の機能充実と経営安定化に向けた改築計画。
- 国保病院は築後 50 年経過、新病院に対する町民の期待は大きい。
- 木材生産地として可能な限り木材を活用することで、地産地消に加え、木造化・木質化による療養環境の向上と治癒効果が期待される。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- 『医療の持続性に配慮したハイブリッド型木造病院』（サブテーマ：療養・癒し効果を高める病室の木質化）。
- 木造化：病院（3,000㎡以下）の 50.58%を木造化（RC とのハイブリッド構造）し、合理的な木造化を計画。
- （木質化：共用部分の木質化に加え、病室（救急・感染症室以外）の木質化を計画）。

C. 提案のアピールポイント

- 木造化：対水平力
RC 造とのハイブリッド構造の採用で、近年の病院建築計画（木造部分を RC 造と同じ 6m グリッドとすることで、将来の変化にも対応できる）を可能とし、計画病院の機能性・可変性に加え、経済性も実現できる。
- 木造化：対鉛直力
RC 床（デッキプレート併用）との合成梁効果検証で梁の経済的な設計が可能（特に撓み）となる。汎用面では、大梁の合成効果は対水平力にも寄与することから、木材利用促進にも貢献できる。



南側からのエントランス側外観

評価の
ポイント



築後 50 年を経過した国保病院の機能充実と経営安定化に向けた改築プロジェクト。新病院に対して、町民から大きな期待が寄せられている。RC 造と木造軸組工法による平面混構造で、長期荷重を木造部分に、水平力を RC 造部分に負担させ、全体として躯体の低コスト化を実現。また、シアキー貫通打ち工法による RC 床（デッキプレート併用）と大断面集成材の合成梁、RC 柱と集成材の GIR 工法（接合金物を内蔵するもの）による接合方法を用いた RC 造と木造の同時施工などの工夫がある。

材料面では、大断面集成材は平取町産木材を 100%活用しているとともに、木質化についても北海道産木材を活用している。

寒冷地の病院木造化におけるモデルケースとして期待できる。

先端性・先進性

①大断面集成材の合成梁効果確認（シアキー貫通打ち工法）

- ・デッキプレート床スラブと木造梁との合成梁効果を確認することで、たわみを抑制し経済的な設計が可能。
- ・合成梁効果を発揮させるために、木造梁と床スラブはシアキー（ラグスクリュー、鉄筋等）を介して一体化を図る。
- ・合成梁効果の検証実験を行い、建築学会等への論文投稿が目標。

②RC部分と木造部分の同時施工の可能性検証

- ・一般的な平面混構造（RC造と木造）の建物では、複雑な施工ステップとなり、異種構造の同時施工は困難。
- ・本計画では、木造の接合部にRC造と馴染みの良いGIR工法を採用することで、平面混構造の同時施工の可能性について検証。

波及性・普及性

①シアキー貫通打ち工法は、ラーメン構造、ハイブリッド構法など幅広い構法に活用可能。

- ・合成梁効果により、木材の弱点である変形（鉛直、水平）を抑えることが可能。
- ・合成梁効果について、一般的な流通材料で構成することで普及性を図る。

②ハイブリッド構法（RC造/木造）の施工性・工期短縮・安全性向上に活用可能。

- ・RC造と木造の混構造を、フロア同時に施工することを可能とすることで、混構造における工期短縮を図る。
- ・木造を混構造として建築計画の適材適所に利用し易くなることで、大規模建築物における木造利用の波及を図る。

③延床面積3000㎡以下の中小病院に広く普及可能。

- ・療養、治癒環境向上による早期離床は全病院の課題。
- ・木造化、病室の木質化効果による早期離床を期待。
- ・病院完成後は一般公開を行い、木造化、木質化した病院・病室の利点・効果等を発信する予定。

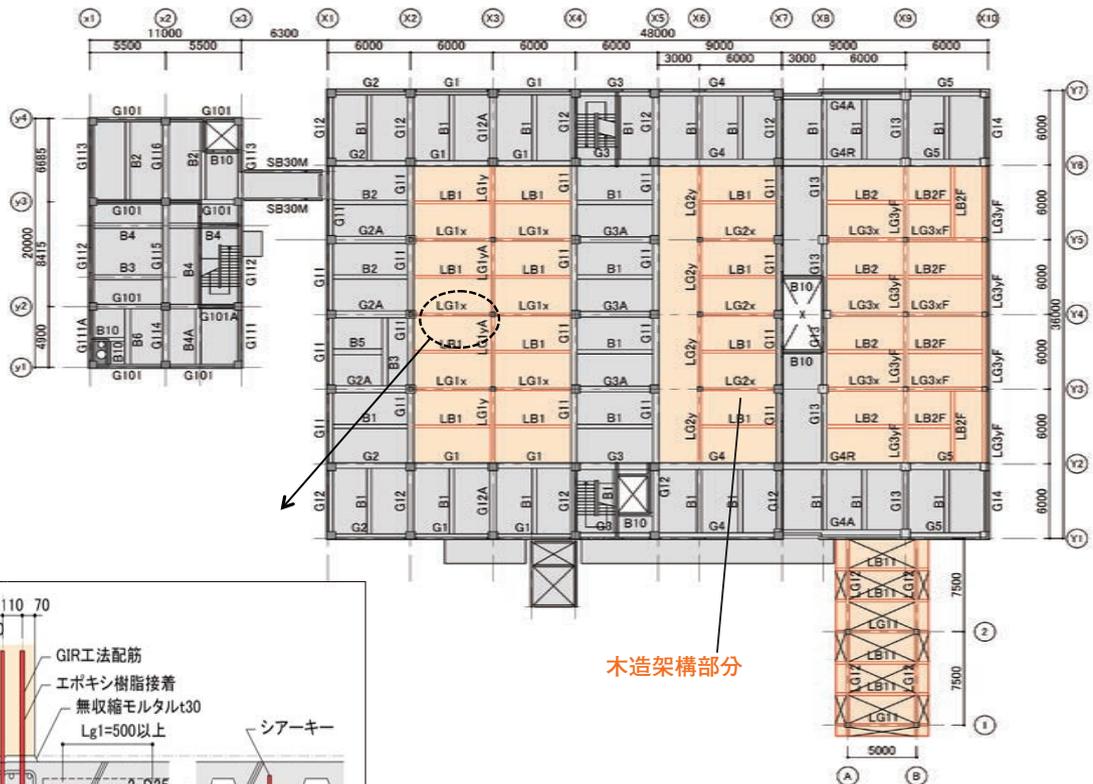
使用する木材、木質建材の特徴

①大断面集成材は平取町産木材を100%活用。

②木質化についても北海道産木材を活用。

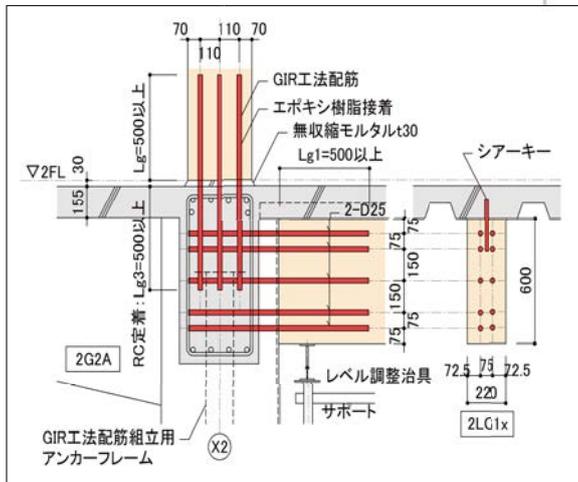


2階平面図

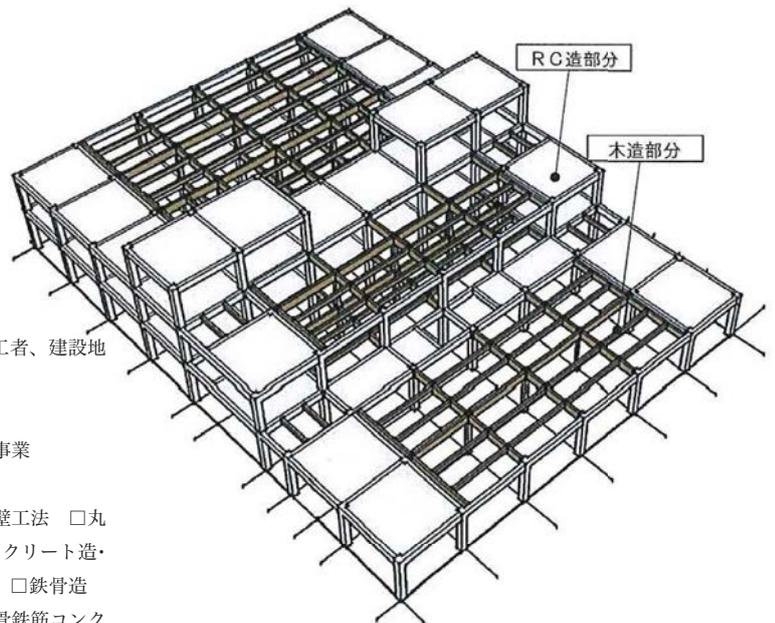


木造架構部分

2階床梁伏図



RC 架構と木造架構の接合部詳細



本館木造化のイメージ

プロジェクト
データ



提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は
扉頁参照

建物名称：平取町国民健康保険病院改築事業
主要用途：病院・診療所

主要構造：■木造（□軸組構法 □枠組壁工法 □丸太組構法 ■その他（鉄筋コンクリート造・木造軸組工法による混構造） □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □その他

防火地域等の区分：□防火地域 □準防火地域 □法22条区域 ■その他の地域

耐火建築物等の要件：□耐火建築物 □準耐火建築物（60分耐火） ■準耐火建築物（45分耐火） □その他の建築物

敷地面積：6,384.39㎡

建築面積：2,123.67㎡

延べ面積：3,447.59㎡

軒 高：8.15m

最高の高さ：8.75m

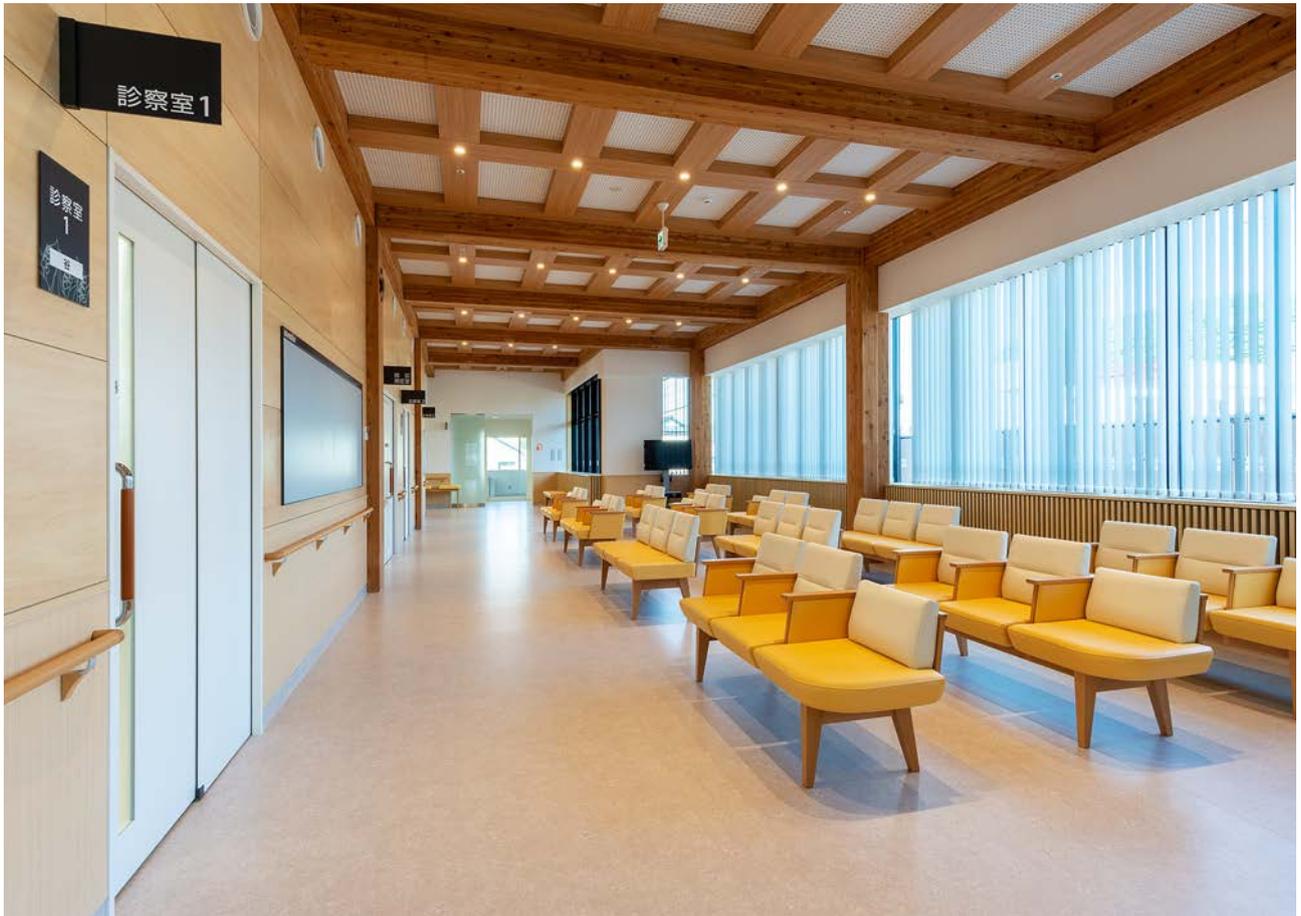
階 数：地上2階

事業期間：平成28年度～30年度

補助対象事業費：377,731千円

補助限度額：59,500千円





1階ロビー・待合



全景俯瞰写真



ダイニングルーム



4床室